

生産性向上支援訓練の活用事例

《生産管理分野》

訓練コース名 【生産現場の問題解決】

【会社概要】 食品加工業（地鶏の育成、加工、全国販売の一貫体制にて自社ブランド確立）。創業昭和25年。

訓練受講のきっかけ（経緯）

- IT利活用により生産性向上を模索中。
- 作業工程の見直しにより原価圧縮を図り、クレームの迅速な対応も可能な態勢の構築を目指す。
- 生産・加工工程の問題点の改善を行い、6次産業化の観点も念頭に売上げ増を図りたい、との意向。

【同社の訓練ニーズ】

- 築き上げた自社ブランドの更なる展開、発展。
- まず、原価と売価、製造工程のムダ等の基礎知識を習得させ、社員が自分で段取りを考えて効率化して、アイデアを捻出するレベルが望ましい。

訓練の実施状況

訓練の概要

- 訓練日程
 - ・平成31年1月25日 9：00～16：00（6時間）
 - パートを含む全社員12名が受講。
 - 対象（基本カリキュラム）
 - 1.生産活動の基本： トヨタ生産方式に学ぶ
 - 2.現状分析とムダの発見： ムダの発見のポイント
 - 3.生産現場の改善： 作業分析のシミュレーション
生産活動業務改善の紹介
- ※演習：「トヨタ生産方式と同実践マニュアル」を使用し、製造現場のムダ発見の手法を学ぶ。

受講した感想

【受講者の声】

- 第三者の立場でアドバイスをいただき、新しい発見ができた。
- 受講者全員で「生産性」について考えたことで、これまで考えていなかった問題点を発見することができ、また新たな気づきを受講者全員で共有することができた。
- 勉強したことを持続できるように周りに「声掛け」をしていきたい。等

【事業主の声】

- 無理矢理ではなく生産現場の人々から自発的に「改善」に対する意見が上ってくるようになった。
- 研修をきっかけに、部署内での会議も定期的に行うようになり、現場での問題解決が迅速に対応できるようになった。